

## 平成 30 年度第 8 回価格審査会の開催について

平成 30 年度第 8 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、当財団の価格情報誌の発行前にその掲載価格の妥当性等について、外部の有識者によって審査を行うものです。

開催日時	平成 30 年 11 月 15 日(木) 10:00 ~ 11:30	
場 所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 参与 技術本部 技師長
	関口 司	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 次長
	森田 義則	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長
	柳 泰彦	株式会社日本設計 コスト設計部長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：川野辺 豊、課長：康広 誠己
	第一土木調査部	部長：高橋 俊一
	建築調査部	部長：加納 慎二
	監査審査室	室長：後藤 裕
	調査統括部(事務局)	部長：鈴木 昌樹、次長：古井戸 宏、課長：菊池 信博

平成 30 年度第 7 回価格審査会議事録(案) 確認

平成 30 年度第 8 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	「建設物価」12月号、「Web 建設物価」12月号の価格動向
・	価格が上昇した資材は、異形棒鋼（中部、四国の各都市）、H形鋼（北陸、中部、九州を除く各都市）、セメント（バラ）（千葉、中部の各都市、京都、大阪、神戸）、レディーミクストコンクリート（十和田、野辺地、六ヶ所、五戸、水戸、日立、筑西、鉾田、大子、宇都宮、鹿沼、真岡、秩父、名古屋、一宮、半田、春日井、津島、大府、新温泉、有田、有田川B、三原、玖珠）、再生砕石・再生砂（郡上、玖珠）、コンクリート型枠用合板（全都市）、アスファルト混合物・再生アスファルト混合物（稚内、三原、尾道、三次、庄原）、摩擦接合用高力ボルト（全都市）、燃料油【軽油ローリー渡し】（北海道、関東、近畿、四国、九州、沖縄の各都市）などであることを説明。
・	価格が下落した資材は、レディーミクストコンクリート（新潟）、路面表示用塗料（全都市）、構造用合板【針葉樹合板（国産品）】（東京、長野、岡山、広島、高松）、鉄スクラップ【鉄】（北陸、沖縄を除く各都市）などであることを説明。
2.	注目資材
・	摩擦接合用高力ボルト【東京】
・	レディーミクストコンクリート【新潟】
3.	比較資料
・	企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	広島地区の下水道用資材が値上がりしているのは、災害復旧工事による需要が影響しているのか。	災害復旧工事によるものではない。全国的に下水道用資材は製造・輸送コスト上昇のためメーカーが値上げをしており、既にいくつかの地域で値上がりしている。
審議 2	鉄スクラップは、「製品メーカーが購入価格を引き下げ、問屋筋も買入価格を引き下げた」ということであるが、どちらが市況下落に影響を与えたのか。	最終的な鉄スクラップのユーザーは、電炉メーカーである。電炉メーカーが、製品需要とスクラップ在庫、鉄スクラップの輸出価格などを睨みながら購入価格を判断している。在庫が過剰であれば問屋からの購入価格を引き下げ、不足していれば引き上げる。それを受けて問屋筋が買入価格を上げ下げしているのがスクラップ市況である。
審議 3	鋼材製品の工場は全国各地にあるのか。	H形鋼の工場は比較的西日本に多いが、異形棒鋼の工場はH形鋼と比べると全国各地に点在している。
審議 4	鋼材は生コンほど地域により価格変動の違いがみられないのはなぜか。	生コンは、運搬時間に制約があり他地区からの搬入が難しいことなどから非常に地域性が強い。一方、鋼材は、生コンと異なり広範囲に流通していることから生コンと比べると地域性が弱い傾向にある。
審議 5	ガソリン価格は製油所から遠くなると高くなると言われているが、鋼材も同様か。	需給バランスの状況や製造・輸送コストの動向など多くの要因でその地区の市況が形成されるものの、一般的には工場や倉庫から遠い場所は高くなる傾向がある。
審議 6	高力ボルトが入手しにくいということだが、背景や理由はなにか。	首都圏の再開発事業などの影響を受け需要は旺盛である。現場では溶接工不足から溶接接合をボルト接合に切り替える動きもみられ、旺盛な需要がさらに伸びている。需給ひっ迫は強まりをみせているが、メーカーも原材料不足から生産が遅れており、需給ひっ迫が解消されるにはかなりの時間を要するものと思われる。
審議結果	「建設物価」12月号、「Web 建設物価」12月号の価格動向に問題はなかった。	

以上